

令和 8 年 9 月 24 日

痛みがなく放置されがちな病気 「鼠径ヘルニア(脱腸)」を解説する 市民向け講座を行います

古河赤十字病院（茨城県古河市下山町 1150 番地、院長：横田英典）は、令和 8 年 9 月 30 日（水）に市民向け講座を行います

鼠径ヘルニア（脱腸）は、腸や脂肪といった身体の組織が、足の付け根（鼠径部）の筋肉や筋膜のすきまから飛び出す病気です。厚生労働省の統計によると年間 15 万人が手術を受けており、身近な病気の一つと言えます。特に発症しやすいのは 60～80 代の男性ですが、痛みがないため、膨らみや違和感があっても放置されやすい傾向にあります。病気が自然に治ることはなく、症状が進行すると緊急手術が必要な場合もあります。

本講座では、病気の詳細や違和感に気付いたときの病院のかかり方なども併せて解説いたします。

【概要】

- ・ 日 時：令和 8 年 9 月 30 日（水）13：30～14：30
- ・ 場 所：古河赤十字病院 2 階会議室
- ・ 名 称：『これって脱腸？足の付け根の“ぽっこり”が教えてくれること』
- ・ 講 師：当院第二外科部長 津久井秀則
- ・ 定 員：30 名（定員になり次第締め切ります）
- ・ 申 込 先：当院代表電話へお電話ください（TEL：0280-23-7111）
- ・ 後 援：古河市

本イベントの周知ならびに当日の取材をご検討いただければ幸いです。

古河赤十字病院

所在地：〒306-0014

茨城県古河市下山町 1150 番地

問い合わせ先

企画戦略課（武田・梅沢）

TEL：0280-23-7111

FAX：0280-23-7120

Mail：kikaku@koga.jrc.or.jp